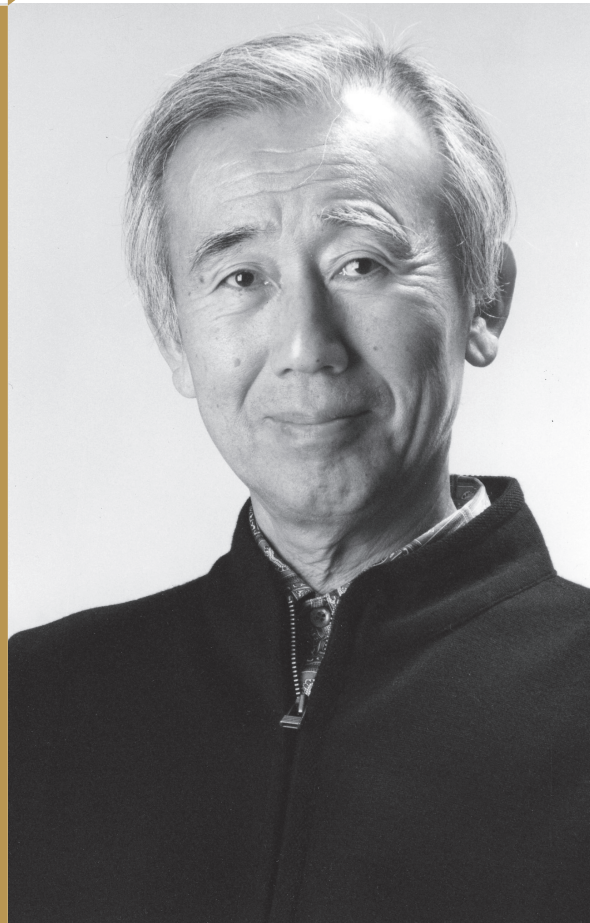


福永千恵子・吉村七重プロデュース

The 箏 KOTO

作曲家シリーズ Vol.1

三木稔(1930~2011)作品による



2026年
11月7日(土)
けやきホール
(古賀政男音楽博物館)
午後3時開演
(午後2時半開場)

《客演》

三木希生子(ヴァイオリン)

《出演》

宮越圭子

木村玲子

田村法子

坂本ゆり子

下田れい子

丸岡映美

丸田美紀

平田紀子

深海あいみ

平野寿里

安嶋三保子

藤重奈那子

町田夢子

森梓紗

長谷由香

福永千恵子

吉村七重

《チケット》

一般：5,000円(前売り)

6,000円(当日)

学生：2,500円

《チケットご予約》

[電話予約] 東京コンサーツ 03-3200-9755 (平日 10:00-18:00)

※予約のみ当日精算

[電子チケット] teket <https://teket.jp/14229/68230>

※コンビニまたはクレジットカードでお支払いいただけます。

[吉村七重箏研究所] e-mail: 7e8ekoto@gmail.com



teket

主催：The 箏 KOTO 実行委員会
後援：三木音楽舎、日本文化藝術財団、JCAA/日本作編曲家協会
マネジメント：東京コンサーツ

The 箏 KOTO

《ご挨拶》

この演奏会のタイトル、The 箏 KOTO シリーズは2020年に深海さとみ・福永千恵子・吉村七重の3名が、箏の優れた現代作品を次世代へと継承するため、その演奏を動画として残すことを目的に始めたものです。

その記録はYouTubeヘトコミミュージックチャンネルに残されています。

5回目の公演企画ができた2024年に深海さとみが他界しました。

一時活動を中断しましたが、2026年の今回から「福永千恵子・吉村七重プロデュース」として、現代に生きる箏の作品を生んできた作曲家シリーズコンサートと装いを改め、若い演奏家への優れた現代作品の継承を主眼に据えた企画にしました。

新たに出発する私達の歩みを、これからもご支援ご鞭撻、宜しくお願い申し上げます。

The 箏 KOTO 実行委員会

Program

三つのフェスタルバラード (1975) (1954 ピアノ原曲)

二十絃箏3面+十七絃箏

吉村七重・坂本ゆり子・田村法子・宮越圭子

箏 双重 (1973) 十三絃箏2面

藤重奈那子・町田夢子

箏譚詩集 冬より (1969) 十三絃箏

小さな序曲・あこがれ：安嶋三保子

人形の子守歌・やがて春が：森梓紗

箏譚詩集 夏より (1983) 二十絃箏

南へ・サヌールの舞姫：平野寿里

白い風の下で・雨ざんざん：長谷由香

箏譚詩集 春より (1976) 二十絃箏

やよい：下田れい子

芽生え・華やぎ：丸田美紀

五段の調べ (東からより) (1979) 二十絃箏

平田紀子

秋の曲 (1980) 二十絃箏+ヴァイオリン

木村玲子・客演 三木希生子

カシオペア21 (1982) 二十絃箏4面+低音二十絃箏

平野寿里・坂本ゆり子・田村法子・長谷由香・丸岡映美

絃の春秋 (1995) 三絃+十三絃箏

平田紀子・深海あいみ

花凜 (2010) 十三絃箏

福永千恵子

(演奏順未定)

今回の演奏会もYouTube「トココン・ミュージックチャンネル」から動画配信を予定しております。



Profile



三木 稔 (作曲家) 1930 ~ 2011

徳島市生まれ。東京芸大作曲科卒。37年を要して完成したライフワーク、《春琴抄》《あだ》《じょうり》《ワカヒメ》《静と義経》《隅田川+くさびら》《源氏物語》《愛怨》《幸せのパゴダ》と続き、1600年の日本史各時代と精神に迫る「三木稔

日本史オペラ9連作」、Symphony for Two Worldsを含む《鳳凰三連》、《大地の記憶》など東西を結ぶ管弦楽曲、欧米で数千回演奏されている《マリバ・スピリチュアル》や《弦楽四重奏曲》《東の弧》などの室内楽曲・独奏曲の多くは海外からの委嘱で作曲され、国際的なレパートリーになっている。《レクイエム》などの合唱曲、《花ものがたり》などの歌曲、《巨火》などの邦楽器作品多数。映画音楽は《愛のコリーダ》がよく知られている。一方、日本音楽集団、三木オペラ舎 (元歌座)、結アンサンブル、オーケストラアジア、オーラJ、アジアアンサンブル、八ヶ岳「北杜国際音楽祭」などを創立、各演奏団体・音楽祭への作曲・芸術監督やプロデュースで、かつてない創造活動を国際的に展開。多数の楽譜・CD出版のほか、著書は「日本楽器法」「オペラ《源氏物語》ができるまで」「三木稔、新箏との道行き35年」。芸術祭大賞、芸術祭賞、ジロー・オペラ賞、徳島県文化賞、紫綬褒章、旭日小授章、よんでん芸術文化賞、第20回福岡アジア文化賞の芸術・文化賞 (日本人で初受賞)、徳島県民栄誉賞 (2011年12月没後) などを受賞。四国大学客員教授。(三木音楽舎)

*特に楽器としての<箏>の発展には大きくかわり、1969年に箏曲家野坂恵子師は二十絃箏を完成させた。その新しい楽器の発展には不可欠であった三木稔の優れた作品群が、二十絃箏の幅広い展開に繋がっていった。(吉村七重)



三木希生子 (ヴァイオリン)

東京芸術大学附属音楽高等学校、同大学音楽学部卒業。ウィーン国立音楽大学に留学し、アサヒビル芸術文化財団の奨学金を得る。鈴木共子、海野義雄、水野佐知香、田中千香士、江藤俊哉、ギンター・ピヒラーの各氏に師事。第6回、8回霧島国際音楽祭奨励賞受賞。第4回大阪国際室内楽コンクール&フェスタに於いて、フォークロア特別賞受賞。現在、オーケストラ、ソロ、室内楽で活動中。